

木田市長の

どろんとコミュニケーション



「消滅可能性都市」

Vol.100

「どろんとコミュニケーション」の私のコラムも今回100回目となりました。ひと月にたった1回のことはありますが、そのひと月があつという間に過ぎて、原稿提出に追われるということもしばしばでありました。書くこととする内容が確定すると、1,000文字の文章も、調子が良いと、30分から40分くらいで書きあげてしまうのですが、何を書こうかと迷っていると、これが中々苦労です。今回は100回記念ですので、景気の良い明るいニュースが良かったかもしれないですね。しかし、選んだのは、私が市政を担当してきた一番気がかりかつ残念である人口減少の問題になってしまいました。

去る5月9日の新聞各紙に「消滅の恐れのある自治体」のことが載りました。2040年には、その30年前に比べて、20代、30代の女性が半分以下に減ってしまう自治体が全国で896にのぼるといふものです。このまま進んでゆくと限界集落ならぬ消滅可能性都市ということになります。私は年間何回も東京へ出張します。そのたびに感じますが、若い人達がいつぱいいます。しかしその若者達の多くが結婚をしない、結婚しても子どもの数は少ないというのが現状です。一方、地方では出生率が高いものの、若者は仕事を求めて大都市へ出て行ってしまい、特に若い女性が地方から消えていると言われています。

今こそ日本政府は国を挙げて人口減少問題、若い人の結婚問題、少子化問題に真剣に取り組むべき時であると思います。取り組むべき方法はいろいろあると思います。

昔は一人では食べられないが、二人で力を合わせて頑張つてゆこうと考えたようですが、今は収入が少ないから結婚は出来ないと考えている人が多くなっているようです。結婚する人の所得補償も含めて、多くの対策が必要であると思います。人口がどんどん減少し、若い人達が少なくなつてゆけば、日本の膨大な借金を返すこともできないでしょうし、尖閣諸島の問題や経済競争においても次第に外国に押されてしまうのは目に見えています。TPPや集団的自衛権も重大な問題でしょうが、少子化問題、人口減少問題こそ最も重要でしょう。

消滅国家とならないことを望みます。



みなさんのご意見・ご提案をお寄せください

市長への手紙

総務課秘書係 ☎(25) 1105



みなさんの声を

お寄せください

市では、市民のみなさんとともにまちづくりをすすめていくため、市長への手紙を募集します。

みなさんが、日ごろの生活の中で感じる市政への疑問やまちづくりに関するご意見、ご提案などをお寄せください。

お寄せいただいた手紙はすべて市長まで目を通して検討し、よりよい市民サービスのために活用させていただきます。

●市長への手紙の出しかた

住所、氏名、ご意見・ご提案などを記入の上、郵送またはファクスで送付していただくか、総務課秘書係へ直接ご持参ください。(様式は自由です) 市ホームページ上でも、市長への手紙を受け付けています。ぜひ手紙をお寄せください。

●市からの回答について

お寄せいただいたご意見、ご提案については、担当課を通じてお答えしますが、匿名の場合や返信先などに記入漏れがあるときは回答することができません。

なお、個人情報等を伏せた上で、ご意見・ご提案と市の回答を広報とばに掲載させていただきます。

送付先

総務課秘書係

〒517-0011

鳥羽市鳥羽三丁目1番1号

FAX ☎(25) 1233

URL <http://www.city.toba.mie.jp/>